

源氏物語

はどのように書かれたか

どの巻から書き始められたのか？
この帖は別の作者ではなかったか？
紫式部は何を描こうとしていたのか？
千年読み継がれる物語誕生の秘密に迫る！



入場無料

平成26年

3月22日(土)

13:30~15:00

大和庁舎301会議室

岐阜県郡上市大和町徳永585番地
※郡上八幡インターからの無料送迎あり（要予約）



講師 島津忠夫氏

国文学者・大阪大学名誉教授
古今伝授の里フィールド
ミュージアム文学顧問

講演

「源氏物語は どのように書かれたか」

日時 平成26年 **3月22日(土)**

13:30~15:00

会場 **大和庁舎 301会議室**

岐阜県郡上市大和町徳永585番地 郡上市役所大和庁舎
TEL 0575-88-2211

※ 当日は休日なので庁舎北側の休日・夜間出入り口から
お入りください。

※ 高速バス郡上八幡インターバス停から無料送迎あり(要予約)
予約先=古今伝授の里フィールドミュージアム TEL0575-88-3244

講師 **島津忠夫氏**

国文学者・大阪大学名誉教授・古今伝授の里フィールド
ミュージアム文学顧問

申込不要・入場無料

※ 古典の講義ではないので、漫画や小説で『源氏物語』のたいの
あらすじを知っていれば大丈夫です。

私が国文学の研究を始めた昭和二十年代の後半は、『源氏物語』成立論が花盛りであった。それが決着を見ないままにいつしかあまり問題にされなくなった。私は何となくそれが不満であった。四十年来、名古屋の「源氏の会」で『源氏物語』を読んできて、折に触れて私の成立論を放談の形で喋って来たが、やはりこのあたりで私の考えをまとめておきたいという気分になっている。

(島津忠夫氏)

国文学者・島津忠夫氏が
四十年間の集大成を初めて明かす！

同時
開催

島津忠夫文庫所蔵 貴重和本特別公開展

和本でみる **室町から江戸の文芸・芸能の世界**

和歌、連歌、俳諧、能・狂言、歌舞伎などに関する室町時代末期から江戸時代にかけての貴重な和本を一挙に特別公開。「天下の孤本」といわれる、たった一冊しか伝わっていない希少性の高い和本も。

宇土細川家旧蔵で、写本としては最善本といわれる『八帖花伝書』や、当地ゆかりの宗祇の句集『老葉』の他、楽しめる和本もたくさん展示。

と き 平成26年3月22日(土)~6月30日(月) 9:00~17:00

(毎週火曜定休・火曜日が祝日の場合は翌日休館)

と ころ 古今伝授の里フィールドミュージアム 大和文化財展示館

入館料 大人300円 小人100円 (20名様以上団体料金=大人250円 小人100円)

※この入館料で、東氏記念館・和歌文学館にも入館できます。

※平成26年3月1日から3月31日までは着物姿でご来館の方は入館無料です。

主催・お問い合わせ

古今伝授の里フィールドミュージアム

岐阜県郡上市大和町牧912-1

電話 0575-88-3244

(火曜定休/9:00~17:00)

<http://www.kokindenju.com>

高速バス・郡上八幡インターバス停から無料送迎(3月22日のみ・要予約)

観光や交通案内が必要な方はお気軽にご連絡ください。



3月1日~3月31日 「古今伝授の里の雛めぐり」開催

- 古今伝授の里フィールドミュージアムの施設ごとに趣向を凝らしたお雛様が皆様のお越しをお待ちしています!
- 和歌文学館では『源氏物語』の特別展開催!(着物姿の方は入館無料)
- 篠脇山荘ではフルートコンサート、木目込み人形教室・ローケツ染めワークショップなど盛りだくさん!
- レストラン「ももちどり」でもうれしいサービス!